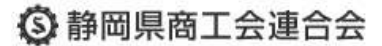


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【平成 31 年 3 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 31 年 3 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 31 年 3 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【建設業では人手不足から受注を断念するケースが散見され、景況感が大きく悪化】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-10.5（前月-6.1、前年同月-5.0）で、前月比 4.4pt 悪化した。季節柄、理美容業や洗濯業といったサービス業が好調である一方、建設業においては、労働力が確保できず、受注を断らざるを得ない状況が発生する等、全県的な不調が響き、全体の景況感を押し下げる結果となった。

【製造業】

業況は-7.8（前月-9.8、前年同月 4.8）と前月に比べ 2.0pt 好転した。自動車をはじめとした機械金属業においては、依然として人手不足に直面する中、受注自体は安定している。また、観光シーズンの到来を受け、食料品の販売機会が増え、相対的に食料品製造業の業績にも好影響を及ぼしている。

【建設業】

業況は-14.7（前月 5.9、前年同月 0.0）と前月に比べ 20.6pt 悪化した。人手不足や資材確保難が深刻な状態であり、これらが原因で受注を断るケースも増えている。また、消費増税前の駆け込み需要についても、現段階では一部地域のみにとまっている。

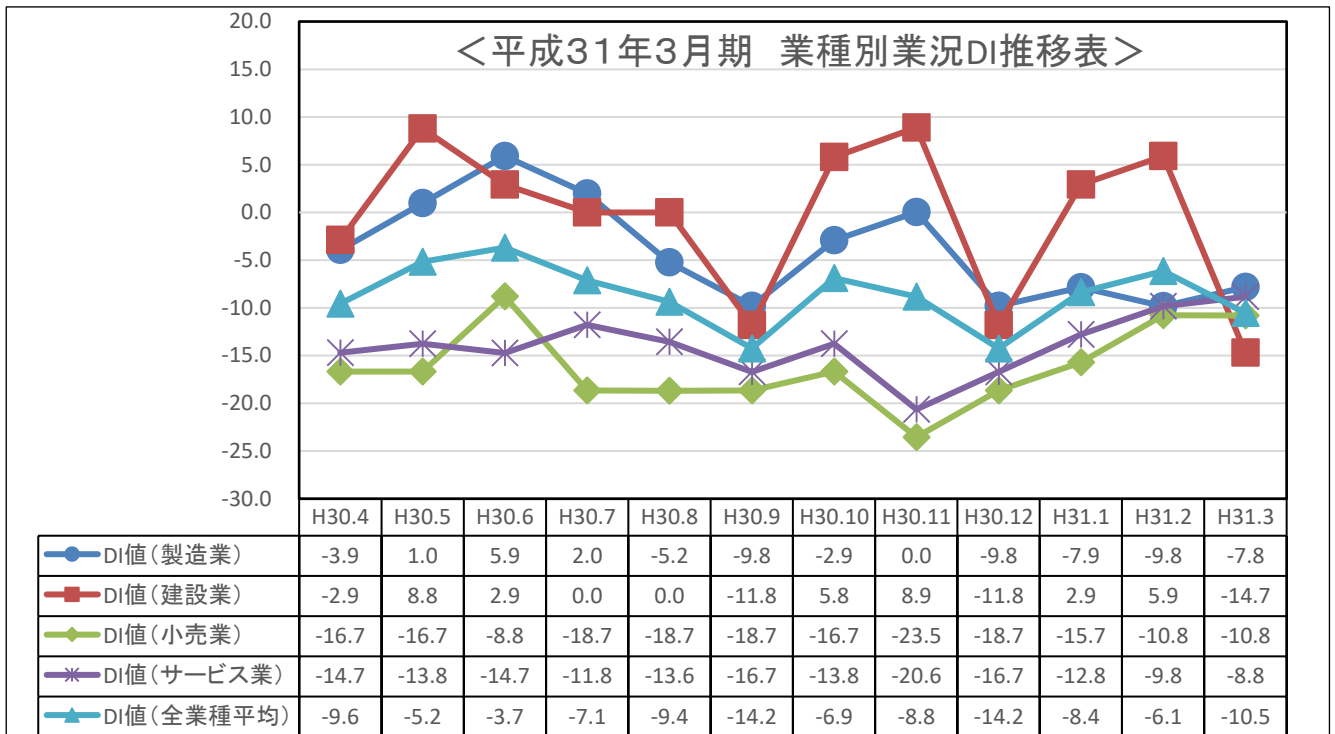
【小売業】

業況は-10.8（前月-10.8、前年同月-17.1）と前月と比べ変化がなかった。観光シーズンの到来を受け、食料品の販売は好調であった一方、気候が安定しない中、衣料品の販売は苦戦する傾向にあった。

【サービス業】

業況は-8.8（前月-9.8、前年同月-7.6）と前月に比べ 1.0pt 好転した。季節の節目や卒業シーズンにあたる今月は、理美容の受注が好調である一方、宿泊業に関しては、観光が盛んな地域とそれ以外とで景況感が大きく異なる結果となった。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：高野・中村〕



<経営指導員コメント抜粋>

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・比較的暖かい日が多く、観光客の来訪も好調であったため、相対的に食品製造関係の受注も好調であった。(伊豆)
- ・製造拠点の国内回帰が進む中、地域の小規模企業への発注も増えてきている。(富士駿東)
- ・桜エビ、シラスの春漁が始まったものの、取引価格が高値で推移しており、これら原料を取り扱う製造業にとっては原材料費の上昇が課題となっている。(中部)
- ・自動車関連は好調だが、人手不足で役員が対応する等、労働力確保が問題である。(中東遠)
- ・機械金属業において、大手企業が量産品の内製化を進めており、長期的な見通しは不透明である。また、不漁が続いていたシラスについて、今春は豊漁であり、十分な原料が確保できている。(西遠)

【建設業】

- ・一部地域では消費増税前の駆け込み需要と思われる受注が発生しているが、全体的には受注件数は少なく、厳しい状況となっている。(伊豆)
- ・大型店の建設が相次ぐ中、人手不足や資材調達難により工期遅れが懸念される。(富士駿東)
- ・人材確保が難しく、受注を断るケースも発生している。(中部)
- ・ハウスメーカーの下請については、受注が好調である。但し、慢性的な人手不足や消費増税後の反動減が懸念される。(中東遠)
- ・昨年の災害復旧工事が一部で残っており、その地域では受注が安定している。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・前月に引き続き、観光客の流入が多く、食料品等の小売についても好調である。(伊豆)
- ・今秋の大型ショッピングセンター開設に合わせ、近隣の商業施設の移転閉鎖が想定される等、今後の市場環境の変化を注視しなければならない。(富士駿東)
- ・地域内の人口減少、消費低迷の影響を受け、衣料品の販売が低調である。(中部)
- ・地デジが普及して10年程度経過する中、テレビの買換え需要が高まっている。また、キャッシュレス決済を導入し、今後の消費促進効果を期待したい。(中東遠)
- ・寒暖の変化が激しい等、気候が安定しないため、春物衣料等の販売が不調である。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・花見シーズンの到来に伴い、宿泊業者への好影響をもたらしている。(伊豆)
- ・洗濯業では、石油製品(ボイラー燃料、洗剤等)の値上がりによる利益減少が懸念されている。(富士駿東)
- ・季節の節目、卒業シーズンということもあり、理美容の受注は安定している。(中部)
- ・花粉の影響からか、コインランドリーの乾燥機を利用する方が多かった。(中東遠)
- ・季節労働者の長期滞在により、観光客等の宿泊受入が出来ない状況が続いている。(西遠)

小規模企業景気動向調査（平成 31 年 3 月末）

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-17.6	-23.5	好転
売上	-8.8	-14.6	増加
仕入単価	23.6	14.7	上昇
採算	-8.8	-26.5	好転
資金繰り	-8.9	-11.8	好転

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.8	-8.9	悪化
売上	-8.8	-11.8	増加
仕入単価	3.0	2.9	上昇
採算	-11.7	-11.7	不変
資金繰り	-5.9	-8.8	好転

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	5.9	2.9	好転
売上	2.9	0.0	増加
仕入単価	23.6	26.5	低下
採算	-5.9	-11.7	好転
資金繰り	-5.9	-5.9	不変

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-14.7	5.9	悪化
売上	0.1	5.9	減少
仕入単価	14.7	23.5	低下
採算	-11.7	-5.9	悪化
資金繰り	-20.6	-8.8	悪化

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-20.6	-14.7	悪化
売上	-17.7	-14.6	減少
仕入単価	0.0	0.0	不変
採算	-17.7	-11.8	悪化
資金繰り	-14.7	-14.7	不変

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.9	-8.8	好転
売上	-14.7	-17.7	増加
仕入単価	14.7	11.8	増加
採算	-32.4	-29.4	悪化
資金繰り	-11.7	-11.7	不変

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.9	-8.8	好転
売上	-8.8	-17.7	増加
仕入単価	14.7	11.8	上昇
採算	-14.7	-14.7	不変
資金繰り	-11.8	-11.8	不変

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.9	-3.0	悪化
売上	0.0	2.9	減少
仕入単価	5.9	8.8	低下
採算	-3.0	-11.8	好転
資金繰り	-5.9	-11.8	好転

9.洗濯業

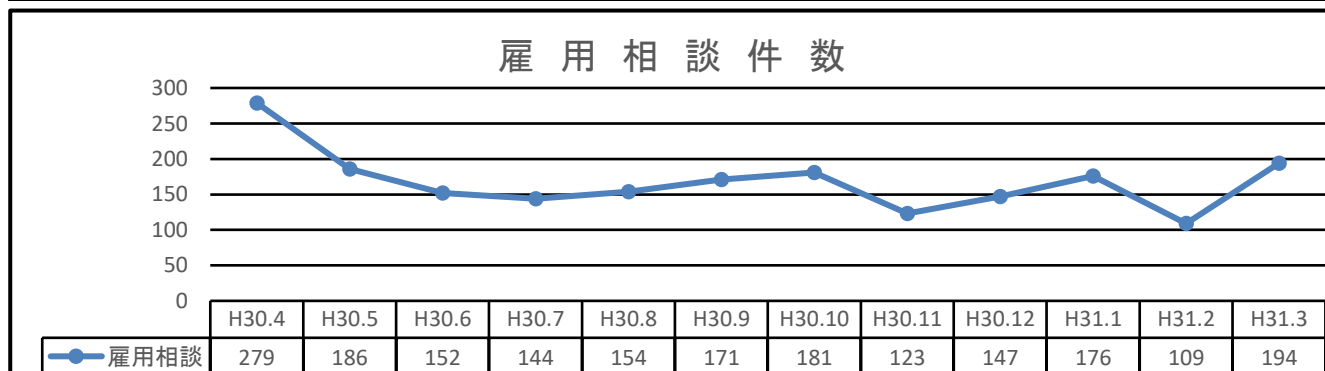
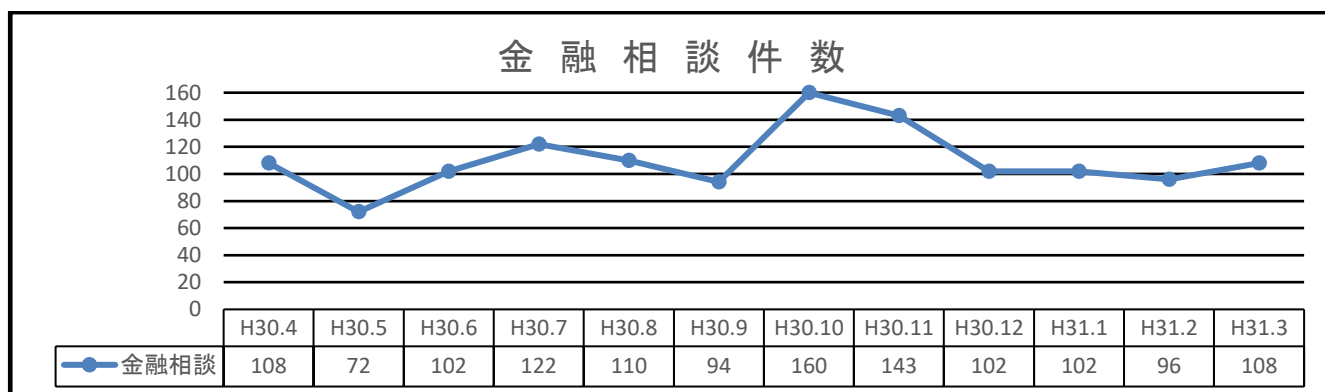
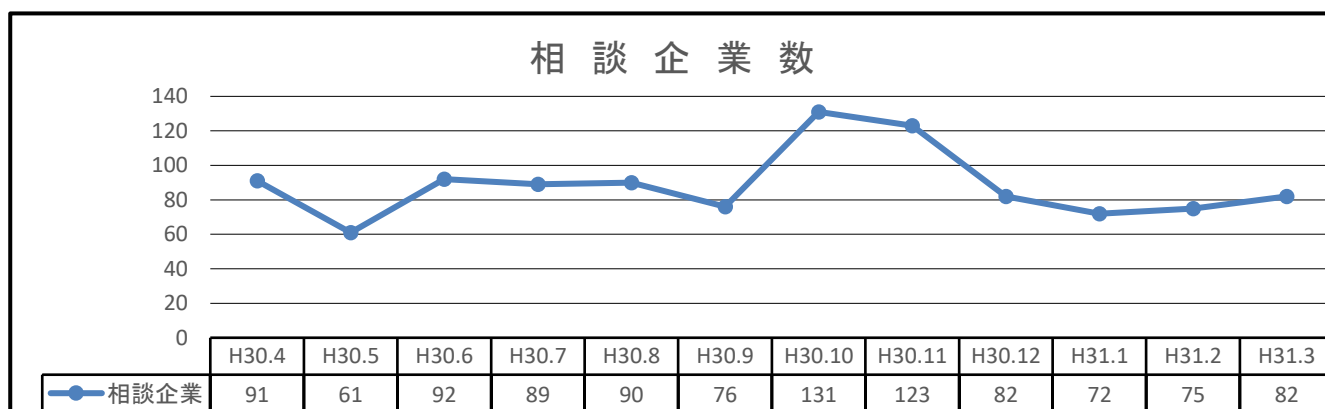
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.8	-11.8	好転
売上	-17.6	-20.6	増加
仕入単価	5.9	8.8	低下
採算	-8.8	-2.9	悪化
資金繰り	-8.8	-11.8	好転

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.8	-14.7	好転
売上	-2.9	-11.8	増加
仕入単価	2.9	2.9	不変
採算	-8.8	-5.9	悪化
資金繰り	-3.0	-5.9	好転

金融・雇用相談実績月次報告(平成 31 年 3 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	82	75	7
【金融相談件数】	108	96	12
新規融資（借換えを除く）	68	66	2
既存債務の借換え	37	29	8
借入れ条件変更	0	0	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	3	1	2
【雇用相談件数】	194	109	85



【金融相談】

金融相談件数は、108 件と前月(96 件)に比べ 12 件増加した。設備投資を積極的に行う企業からの融資相談も多く、補助金活用と絡めた相談も散見された。

<経営指導員コメント>

- ・前月よりも融資に係る相談が多く、設備投資等、新規融資の相談が多かった。(伊豆)
- ・新規受注に伴う運転資金の相談があった。(富士駿東)
- ・飲食業や建設業における運転資金の相談が多かった。(中部)
- ・既存建屋への太陽光発電設備設置を目的とした設備資金の相談があった。(中東遠)
- ・ものづくり補助金等、公的施策を活用する企業からのつなぎ資金に関する相談があった。
(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、194 件と前月(109 件)に比べ 85 件増加した。人材不足への対応に関する相談が慢性化する中、2019 年 4 月に施行される働き方改革関連法に関する対応についての相談も多く、大きく相談件数が増加した。

<経営指導員コメント>

- ・年度末の関係からか、従業員の離職に係る相談が多かった。(伊豆)
- ・働き方改革関連法が本格施行を控える中、法に則った社内体制を整備しつつ、良好な職場環境であることを対外的に訴求し、雇用確保に繋げるよう助言した。(富士駿東)
- ・時期的に雇用保険の取得や離職に係る相談が多かった。(中部)
- ・建設業や運輸業では即戦力となる人材の確保を図りたいが、企業側のニーズに合致した人材はなかなか集まらない状況である。(中東遠)
- ・働き方改革関連法の施行を前に、有給休暇の取得義務化等、企業としてどう対応すべきか相談を受ける機会が多かった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・3月初旬に閉幕した河津桜まつりは、来場者 90 万人以上を記録し、前年比 1.5% 増となった。天城北道路の開通によるアクセス性の向上から、自家用車での来場も前年比 7% 増の 31,500 台ほどあった。(河津町)
- ・みなみの桜と菜の花まつりについて、今年は見ごろが長く、前年比 17% 増となる 21 万人の来場者が当地を訪れた。(南伊豆町)
- ・戸田地区でまちづくりファンドを活用し、旅館跡地をゲストハウスとしてリノベーションする取組みが始まった。(沼津市)
- ・2/16 に富士川地区の旧東海道(間宿岩淵)の施設を巡る体験型旅行事業を実施し、桜の名所としても知られる龍巖淵に関する情報発信等を行った。(富士市)
- ・3/9 に清水ナショナルトレーニングセンターにて個店塾を開催したほか、3/24 には第 13 回かんばら ちょっくら(楽)市を開催し、いわし削り節を使用した蒲原いわしだしの豚汁を配布した。(静岡市清水)
- ・公共交通機関が少なく、近隣に商業施設がない地域の公園にて、キャラバン販売を行い、地域の高齢者等から高評価をいただいた。(大井川)
- ・商工会主催の軽トラ市を 3/23 に開催したほか、3/23, 24 には第 28 回森町発「街並みと蔵展」を開催した。(森町)

- ・年3回実施している軽トラ市を3月末に開催し、近隣商業施設への集客にも貢献した。(浅羽町)
- ・今年も潮干狩りが中止となり、春から夏にかけての集客が懸念される。3/1に弁天島駅前にファミリーホテル開春楼が開業したことを受け、駅前の活気が戻ればと期待する。(浜名)
- ・浜名湖全体として天候等の影響から牡蠣の養殖が不漁であった。着地型観光の試みとして実施している「牡蠣小屋」についても、1～3月の来場者が目標(20,000人)を大幅に下回る結果(13,500人)となった。(新居町)